

K 1 赤見 外志和

7月26日(土)に 日吉で行なわれた旧校舎のお別れ会に出席した。

我々はKBSの1期生であり、日吉駅前にあった仮校舎が教室であったから、この校舎そのものには 思い出はなかったが、片岡先生のお話を伺ったり、出席された先生方と当時のことを話している中に、自分がKBSに推薦された当時のことが思い出された。

当時、私は入社7年目の平社員で、或る日、上司のKNさんから「慶応でビジネススクールと言うのが始まるので、そこに君を推薦する。」と言われたところからKBSとの関わりが始まった。KNさんは次長職で、課長を兼務して居られたと記憶している。

その頃、会社ではKBSのケースにもなった「キャタピラー三菱」に関連して、我々の事業所は東京の大田区からキャタピラー三菱社に隣接する神奈川県相模原市へ展開する構想が持ち上がっており、KN次長の指揮のもと相模原展開の目論見書を作成していた。

これが実現して、工場の移転は2年を掛けて完了し、私はKBSを終了してから またKN部長の部署に戻ったが、その後、相模原の工場から丸の内の本社に転勤となった。

暫くして、KNさんも事業部長として本社に来られて、再び 私の上司に就かれた。

それから10余年後、KNさんは取締役を経て退職されたが、私は キャタピラー社と別の事業での合併会社の設立にタッチしたことから、2度目の海外勤務でオランダの会社の立ち上げをやっていて、そんな或る日、東京からの連絡で退職されたKNさんがオランダの工場を視察したいと言って居られることを知り、大歓迎でお迎えすることにした。

KNさんは 間にご自分の用事でイギリスを往復したりされたが、前後は オランダで過ごされ、JVの会社を視察の際には昔と変わらぬ辛口の批評を頂いたり、休日にはマーストリヒトにもご案内したりして、1週間程ヨーロッパに滞在され お元気に帰国された。

KNさんが急逝されたとの連絡が届いたのは、帰国から1週間もしない内の日のことであった。お別れにオランダまで来て下さったのかも知れないと思い、最後まで私を可愛がって下さったKNさんに 深く感謝の意を捧げるとともに、ご冥福をお祈りしたが、KBSと聞くと このことを思い出さずにはいられない。

遊び、食べる、学び、働き、暮しのK2同期生

我々KBS2期生が卒業して37年が過ぎました。平成20年のK2同期会を開くために案内状を発送したところ、バリバリとビジネスに燃えている人が〇〇%、リタイヤ組が〇〇%、宛先不明(多分、退職に伴い永住地に戻った人でしょう)が〇〇%でした。これからはだんだん定年退職後の第二の人生をおくる方が増えていくのではないかと思います。

今年8月6日、K2同期生8人が東北、東海の新幹線起点で便がよい東京八重洲口のある居酒屋で集まりました。顔を出された方は、久しぶりだから、せっかくのお誘いだから出てみるかという人(新顔)、都合がつけばいつも出られる人(常連)とさまざまでした。話はKBS新校舎移転記念集会の報告、景気、ゴルフ談議、マージャンなど趣味、参加していない人の消息、健康、年金問題、家族、政治にわたって歓談し、懐かしい友人との友好を深める話に花が咲きました。



左から窪田さん、齋藤さん、大坪さん、曾根さん、木村さん、西尾さん、玉城さん、栗原さん

なかでも「これからの生活資金や健康面などに不安もあると思うけれど、まだまだ老い込むのは早い、第二の人生をいきいきと送りたい」という話が注目されました。また、同期会とは別にゴルフやマージャンなど趣味のサークルで集まろうという話も出ていました。

定年退職は寂しいものですが、退職後の第二の人生はたつぷりと自由な時間があります。個としてこの世に生まれてから二十数年自分に生き、その後会社を経営したり、勤めたりした時間で四十数年、そして時が過ぎて六十数歳になり、これからはすべて自由時間。この自由な時間を有効に使えば、幸せな自分を第二の人生の中で発見できるかもしれません。次回は来年の新校舎移転時期を考えています。

そこで幹事として思ったことですが、戦後の厳しい競争の中で経済成長を担い、新たな文化や流行を生み出してきた世代であり、貴重な経験や技術、知識を持った人が多い。確かにどなたも忙しいし生活に時間的な余裕があるわけではありません

が、ささやかな自己満足でも、ボランティアなどの社会貢献でも、同じ趣味をもつサークル活動を続けるにも、自分自身の人生の豊かさを増すのではないかと考えます。インターネットもソーシャルネットワーキングと称し、何の関係もない人々がネットを通じ巨大なパワーを生み出しています。もしKBS卒業生がインターネット(またはイントラネット)を縦横無尽に情報交換で輪が広がって行ったら、第二の人生を楽しく過ごせるとてもないパワーになります。これからはビジネス界の人との連携が薄れ、過剰な情報が錯綜する時代の中で、信頼できる仲間としての同窓会組織の役割は見直す価値があると思います。更なる卒業生の縦、横の軸が広がって行くことを期待します。

記 2 期生幹事



web会報 「各期だより」

K5 森 暁司

<K5期>

K5期は同期会を毎年開催しており、今年も11月に東京で開催する予定です。

卒業生58人中、毎回20名ほどが出席し、近況などを話し合っています。

東京近郊在住者の約80%が出席しており、メンバーの全員の住所なども把握できています。

2年前の同期会には、我々の在学時の校長であられた片岡先生をお招きし、KBS創設期のご苦労話などを、熱く語っていただきました。

メンバーの年齢も60歳～70歳近くになり、現役で活躍中の人もありますが、仕事からリタイアした人がだんだんと増えています。話題は健康、趣味、家族などで、仕事の話は少なくなっています。残念なことに、すでに鬼籍に入られた方も数人おり、それらの方の思い出を語り合う場にもなっています。

今年も多くの同期の仲間が集まることを、楽しみにしています。

(文責:森)

<K-7ページを新設>

野々垣です。この度、KBS同窓会のホームページにある「各期だより」にK-7のページを新設しました。今後、メンバーのみなさんが自由に投稿され、日常の情報交換と同期会の結束強化に活用されるよう期待します。

<平成20年度同期会開催>

最初のお知らせは、平成20年度の同期会開催報告です。平成20年11月7日(金)、品川高輪和彊館にて24人が参加、賑やかにひと時を過ごしました。翌8日(土)にはゴルフ組6人が千葉県野田市の紫CCでプレーしました。

今回、特記すべきこととして、さる4月に三菱東京UFJ銀行の頭取に就任された永易さんへ、我々一同から祝意を表す「プレート」を贈呈することとし、制作の労を取られた秦泉寺さんから実物を披露していただきました。永易さんご本人は欠席で、席上お渡しすることはできませんでしたが、近く代表が銀行を訪問してお渡しすることになっています。お祝いプレートを前に置いた集合写真をご覧に入れます。



20年K7同期会

来年の幹事は柴田ゼミの松浦さんと関谷ゼミの根本さんをお願いすることとなり、平成21年11月6日(金)、品川高輪和彊館にて開催、と決まりました。また、大勢の方のご参加をお待ちしています。

<平成19年度同期会開催>

ついでに、前2回の同期会開催状況をご報告しておきます。平成19年度の同期会は平成19年11月9日(金)、品川高輪和彊館にて28人が参加して行われました。前年の高知同期会でお世話になった岡内さんが夫人同伴で参加されたほか、遠く北海道の宮北さんや福岡の松居さんも参加されました。翌10日(土)には6人によるゴルフが千葉県野田市の紫CCで計画されましたが、あいにくの雨で中止されました。



19年K7同期会

<平成18年度同期会開催、卒業30周年記念功名が辻ツアー>

平成18年度の同期会は「KBS卒業30周年記念功名が辻ツアー」と銘打って平成18年11月11日(土)、12(日)の2日間、高知市で行われ、好天の下、楽しく有意義に終えることができました。7人が夫人同伴、思いがけず石田先生が飛び入りされ、東京、大阪、福岡からの参加者は合計30人でした。

ゴルフ組は風格がありかつ挑戦し甲斐のあるKOCHI黒潮カントリークラブで、プレーを堪能しました。優

勝は紅一点参加の金森夫人でした。観光組も岡内さんの奥様のご案内で周辺を楽しく見物しました。高知にお住まいの岡内ご夫妻の行き届いたお世話に、参加者一同、心から感謝した次第です。



18年K7高知同期会



黒潮CCにて



＜永易頭取にお祝いプレートを贈呈しました!＞

野々垣です。本年、平成20年4月に三菱東京UFJ銀行の頭取に就任された、K7の同期、永易克典さんに対し、昨11月27日、野々垣、秦泉寺、伊藤の3名が同行を訪問し、頭取室においてお祝いプレートを贈呈しました。永易頭取と一緒に撮った写真をご覧に入れます。

永易さんは同期のみなさんへの感謝の意を表され、よろしくお伝え下さいとのことでした。

来年の同期会(平成21年11月6日(金)、品川高輪和彊館)には是非、出席下さるようお願いしました。



M2 だより

アクサ生命保険(株)岡田利雄

市川猿之助の縁

M2 が日吉を旅立って、既に 27 年と半年が経過した。誠に「光陰矢の如し」を実感する今日この頃である。

この間、同期の結婚式や栄転、昇進の機会等でランダムに会う機会は有ったし、25 周年には少人数ではあるが、熱海で宴会とゴルフコンペを盛大？に開催している。

唯、定期的に同期会を開催するようになったのは、6 年前からである。

発端は、啓明学園の理事長を務める平野さんの「そろそろ同期会をやりたかね。」

の一言であった。市川猿之助のお孫さんが啓明学園に入学していて、猿之助がディレクションした「うまや」というお店が、その縁で割引で利用できるとの提案も頂いた。

割引の言葉に弱い筆者は、早速飛びつき、同期に案内状をメールした。こうして 15 人程が集まって第 1 回の定例同期会が開催された。

「うまや」赤坂店は印象的なアプローチで、内装も高級感があり、中々予約の取れない人気店である。鳥を中心とする料理も美味しい。丁度その日は、予約時には

気が付かなかったが、11 月の第 3 木曜日でボジョレーヌーボーの解禁日であった。

サービスでヌーボーも供されたので、これに味を占め、以降毎年 11 月の第 3 木曜日に定例同期会を開催するようになった。まさに市川猿之助の縁というべきであろう。

平野さん、誠に有難うございます。

今年は 11 月 20 日(木)、新規開店した「うまや」外苑店で開催予定ですので、積極的な参加をお願い申し上げます。

M4 各期便り

Staguhn 由美子



日本、独で産業アナリストとして勤務し、東京で主人と知り合い、在独 16 年になります。現在フリーで色々な仕事をプロジェクトベースでしており、9 月にある日本文化のイベントで忙しい毎日をご過ごしております。独南西部にある BW(バーデンブルデンブルグ)州府 Stuttgart の傍に住んでおります。

独で最も今盛んに議論されているテーマの 1 つが教育問題と健康問題であると思います。独の教育制度は日本と根本的に違い、私学が殆どないのです。独では誰もが教育を平等に享受できるという権利のもとに教育は全て税金により賄われてきたのです。

独は州連邦制のため教育は州政府管轄下であり且つ全て無料でした。然しながら財政的危機から大学の授業料を徴収する州がここ数年現れました。更に大きな問題は独の教育制度が日本、米等と違い、高校終了時期が 1 年長く、且つ現在でも健康男子には徴兵制度が現存しているため、大学入学年齢が諸外国よりも 2 年遅れているという現状です。且つ独の大学はいわゆる修士修了が大学卒業だったのですが、国際競争力に勝ち抜くためには変革を行わなければならないということで学士制度導入が始まりましたが、ドイツの国際的競争力を支えてきたエンジニア、自然科学分野で多くの問題を抱えてきています。

健康問題は日本同様高齢者への健康保険負担削減のために肥満者減少への努力がなされており、日本の食品業界は大きなチャンスがあると思います。また自由時間の多いドイツでは 15 年来ゴルフが非常に盛んになり、私もゴルフ三昧をしています。

独語圏で何かお尋ね等がありましたら、お気軽にメールを御送付ください。

ystaguhn@t-online.de

M7の近況

吉岡 圭介

本来なら同期の諸君の消息や最近の活躍を記すところなのでしょうが、情報も偏りがちなので石渡、廣石、平井、阿部という同期の幹事諸兄のご指名を受けて私が「雑感」を書くこととお許し願います。

7月の末に我々の学んだ校舎とお別れをしてきましたが、それを機に改めてKBSから今日までの私を振り返ってみると汗顔の至りと言うのでしょうか、本当に無駄飯食いみたいな空虚な時間をすごしてきたと思います。しかしよくよく考えてみるとKBS二年間で身につけた考え方や物事の整理の仕方はその後の身の処し方の基本となっていると思います。KBSで得た成果物の一つが「友人」というと打算的に響くのですけれど、今でも多くの同期生とお付き合いいただいていることを考えると大切な資産と改めて実感します。

さてこの度学校は駅の反対側の豪華なビルに入ります。思えば旧校舎は例えばトイレなどは随分とシャビーでした。教授の研究室のドアも薄っぺらで安アパートのようでした。どうか新校舎を得たKBSが慶應義塾とか日本とかいう小さな枠にこだわらないアジアを代表するビジネススクールに成長して欲しいと思います。そのためには先ず学生数を増やすこと。学年400人程度の規模まで増員できないのでしょうか？そしてコミュニケーションとしての外国語に力を入れること。英語でも中国語でも結構ですが、KBSを卒業すれば一つの外国語がビジネスレベルまで身につくとすれば大変な魅力になると思います。そして最後に一番大切なのは教員の質でしょう。マスコミで有名になる必要はないでしょうが「KBSにこの人あり」といわれるような、研究レベルの高い教員達が互いに切磋琢磨するようなそんなアカデミズムは是非保持していただきたいものです。

我々M7期に新卒で入った仲間も40台後半になりました。我々に残された時間は徐々に短くなっていきますがKBSは将来に向けて末永く大きくなって欲しいと切望しています。

塾樹会報(M10同窓会報)のこと

高橋 良雄

平成元年に卒業以来、山本さんや斎藤さんをはじめとする同期有志の方々の編集により、皆の近況や雑感を記したM10同期会報「塾樹会報」を発行して頂いています。回を重ね、直近の会報で第38号 となりました。

M10の同期は、編集の方より何年かに一度原稿を依頼され、近況や時々の「お題」に沿った記事を書きます。その原稿をまとめていただき、年に2度、6月と12月に作成され各人に送って頂いています(大変ありがたいことに、この塾期会報は、KBS図書館に収蔵して頂いているとのことです)。

届いた同期会報には、その人の「今」が書いてあります。同期の人が何をやっているのか、どう苦労しているのか、手に取るように分かります。この会報のおかげで、何年も顔を合わせていなくても同期の方々の消息が分かります。長らく顔を合わせていなくても「よっ、最近〇〇しているんだって？ うまくいっている？」と久しく会っていないとは思えない感覚の会話になります。

卒業したのは、いまだバブルだった頃の1989年。そのせいか、その後10年くらいの名物コーナーは「デューダしました！」という転職報告でした。毎回、転職しましたという記事が載り、多いときには一度に3人も！ とにかく毎回読むたびに次々と転職の報告があり、驚嘆するばかりの頻度でした。卒業後10年を過ぎたあたりから、健康に関する記事が増えてきました。多くの同期の皆さんも40歳代に突入し、健康診断に引っかかり悪戦苦闘する話など、自分にも当てはまり共感してしまうと同時に「あいつも苦労してるなー」と思わずニヤツとしてしまいます。

卒業以来、プリントして封筒に詰め、宛先・切手を貼り郵送してきましたが、最近ではPDF ファイルをメールで送信という形に変わってきました。発送作業はとても便利になりましたが、PDF をディスプレイで読むのは少し味気なく感じてしまいます。プリントアウトして仕事帰りの電車などで読んでいるのですが、内容が楽しく、読んでいる間は自然と笑顔になってしまいます。思わず声を上げて笑ってしまいそうになることもしばしば。一生懸命普通の表情を作りながら読みふけてしまっています。

編集の方々は大変でしょうが、是非とも会報が今後も続いてほしいと願っています

す。

M 11

[HOME](#) > [各期だより](#) > 2008 年度版

M11の皆さん、こんにちは！ 林 逸子です♪

7月26日のKBS旧校舎お別れ会には、多数ご参加いただきまして、ありがとうございました～。

私にとって、この夏最大のイベントでしたが、皆さんのご協力のおかげで、大成功！

充実感たっぷりの1日でした。

今日は、同窓会HPの更新が、自分でできるようになったと聞き、ノウハウを取得しに来ています。

M11各期だよりの本番は、藤本さんから更新していただけたと思いますが、取り急ぎ、テスト的に

私の夏休みの報告をさせていただきます！

いつも、たっぷり休んでいそうに見える私ですが、この夏はあまり休みは取っていないのです。。

でも～～

週末のお休みを使ったイベントが・・・KBS同窓会の後にも盛りだくさん！

まずは、**富士山**ですっ！！

日本人たるもの、一度は富士山に登らねば……と
若めの友人に誘われるままに、
富士山初登頂に挑戦！

今年は、過去最高の登山者だとかで…
とにかく、人、ひと、ヒト。。。大渋滞の富士山でした。

しか～し！！！！これを見てくださいっ！！

人を掻き分け、登りきったところで、
崇めることができた、

ご来光！

美しいでしょ——っ！ も——かんど——
——です！！



そして、もう1つの大イベントは。。**将棋**

実はもう何年も。。そう、ロンドンに行く前から、**イケメンヤング男子**棋士に、将棋を教えてもらっているのです。

そして、9月14日に開催された、**女流アマ名人戦！**

今まではずっと一番下のクラスに出ていたのに、今年からは下から2番目のクラスに出場。。それなのに。。。

じゃーん！

3位に入賞しちゃったのです～～。隣は、私の先生☆です♪

実は、超ラッキー3位なんだけど。。まあ、そういうことは気にしない♪

めっちゃめっちゃHappyなイベントでした♪

お休み取らなくても、十分楽しかった今年の夏だったのです！

次のイベントは、**11月のMBAカフェ**。

そして、**1月のKBS新校舎での、同窓会総会！**

山田会長が、ガンガン活躍しますので、同期の皆さん、積極的なご参加をよろしくお願いいたします。



M12 期 幹事

去る7月11日に、我々M12期の同窓会を銀座コリドー街 LOBにて、そして翌日は千葉廣濟堂カントリーでのM12でのコンペを開催しました。有志ベースの忘年会、新年会という名の飲み会はあちこちで実施されていたものの、全体を召集する同窓会としては久々、卒業してやっと2回目の開催です。

M12同期77名のうち44名(57%)と連絡を交わし、当日は28名(3分の1)が出席。国内では遠く北海道からも出席者(山本さん)がいましたが、なんと海外(香港)からも山村さんがこの会のために駆けつけてくれました。同窓会会場では久々の再会に、「変わったねえ」、「変わらないねえ」の言葉とともに名刺交換をする姿があちこちで見られました。今では経営者の肩書きを持つに至った同期生も多く、さらにはKBSの磯辺教授をはじめとして大学で教鞭をとる人が3人もいます。翌日の12名出席のコンペでは好天に恵まれたものうだるような暑さの中、仕事を離れたゴルフに皆リラックスして笑い声の絶えないプレーとなりました。プレー終了後のパーティー中に、避難を促すサイレンが鳴り響くほどの雷雨にみまわれると、「さすが日ごろの行いがいいから・・・」と自画自賛するメンバーに、昨日に引き続き「変わってないねえ」を言い合う姿は、現役当時の日吉の一場面を思い出させました。

日吉といえば、7月26日のストラテジック・インサイト・セミナーで久しぶりにKBS日吉校舎へ。72年に日吉校舎は完成。M12は89年から91年にかけてお世話になりました。2008年9月に日吉校舎の複合施設に移転するとのことですが、見た感じはまだまだ使用できそうです。当日の会場は21番教室。出席者が入りきらないくらいの大入り。やはり皆さん感慨深げ。冒頭の片岡元校長のご挨拶では、KBS創立期からのお話に感銘をうけました。臨席していた教授陣の表情が講義を受ける生徒のようになっていたのが印象的でした。写真はお世話になった11番教室。まだまだ現役。M12当時と違うのはさすが豪華になっているような・・・。

日吉を離れてから強く、逞しく成長したM12ではありますが、来年はKBS同窓会の幹事を勤めさせていただくこととなっています。今までの幹事の皆様が築き上げてきた同窓会の資産をさらに実りのあるものとし、卒業しても尚、KBSの価値を実感できるような組織体となるよう、M12期の力を合わせて取り組んで行きたいと考えております。ぜひ、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

M-13 期 同窓会報告

2007年から2008年にかけて、M13 期は、色々イベントがありました。一番大きかったのは、中村さんの挙式で2007年11月3日が「メゾン・ポール・ボキューズ 代官山」で、盛大なパーティが催され、同期も多数お祝いに駆けつけました。おめでとうございます。

また、井澤さんは医師の奥様の留学のため職を辞して2007年9月10日に一緒に渡米。主夫をされています。つい先日の6月中旬には短期で帰国されましたので、品川のホテルパシフィック東京の「シンガポール・シーフード・リパブリック」にて盛大に歓迎会を開催しました。



(左から:坂巻、高尾、北上、井澤)



(斉藤、蔵元)



(阿部、丸森、紀谷)



(佐々木、阿部、丸森)



(坂巻、丸森、北上)



(横手(旧姓:金海)、坂巻、北上、阿部、丸森)

(井澤、阿部、丸森、蔵元)

(北上(由)、高松、斉藤)

また、最近、もうひとつ、大きな変化がありました。2008年8月に入って、中川さんがニューヨークから帰国、本人いわく一時帰国でなく2-3年帰国だそうです。これから同期の集まりが活性化しそうです。

そろそろKBS同窓会の役員時期にさしかかるといので、今後の幹事の体制をどうしようかなどと最近相談したりすることもあり、さすがに勉強会はしませんが、現在も大勢のメンバーが集まっています。

(文責:紀谷)

魚谷宜弘

2008年9月1日

2004年から(株)損害保険ジャパンの欧州子会社のドイツ支店で勤務しています。ドイツおよびポーランド、ハンガリーなど中東欧諸国の日系企業のお客様に対する保険サービス提供が主な業務です。



現在ドイツ支店長として12名の部下と仕事をしていますが、外国人の部下を持つのは初体験でした。赴任当時、サービス精神・責任感に対するドイツ人と日本人との間の大きな差に戸惑いと苛立ちを覚えました。しかし、慣れもあつてかこれらを受け入れられるようになり、以来人間関係も改善してきました。こんな経験を通じて、異文化との接点では“違いを認める”ことからものごとを始めるのが重要であると学びました。これは日本人同士でも同様と思います。日本企業では「同一・均質文化」が当たり前でしたが、今では買収・合併や転職により異文化の中での仕事は普通です。そんな中、異なったバックグラウンドを尊重し、同じ目線に基づいた対応が必要だと最近感じています。時間・手間はかかりますが、実は組織として最大の成果を得るための一番の近道ではないかとも考えています。

KBS 会報誌ということではつい肩に力が入ってしまいましたが、私生活では欧州を目いっぱい楽しんでいます。ここドイツからは1時間程度のフライトで欧州域内ほぼどこにも行かれます。シチリア島のエトナ山から立ち昇る噴煙、バレンシアの火祭りでお出会った子供たち、モンブランでのゆったりとしたスキーなど、忘れられない思い出をたくさん作ることができました。これからも“モノより思い出”を実践していきたいと思えます。

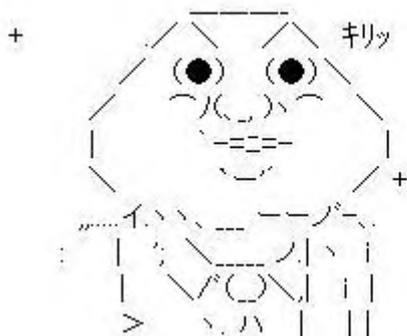
M17の近況

大島 亨

こんにちは、M-17 大島です。栄えある同窓会誌の Web 版第 1 号に、何故かアナログ的な小生が投稿させていただきます。Web と言えば、私たち M-17 在学時の頃がまさにインターネット時代の幕開け。KBS の共有 PC から今では見ることもなくなったネスケブラウザを使った海外からのダイレクトな情報に、いろいろな意味で興奮したものです。

あれから月日は流れ・・・風格も風貌もミドルエイジ相応となった M-17 の面々とは、H 坂幹事の献身的な企画のもと(幹事役いつもありがとうございます)、暑気払いと忘年会の年 2 回程度のお会いできる機会があり、今季は去る 6 月 27 日に開催されました。普段の会社同僚との仕事の延長戦のような話とは違い、そこには社長や部長などの役職も組織の理不尽さもなく、開放的で良識的な会話ができる安心感があり、いつもながら、M-17 のみなさんから元気を頂戴して来た次第です(そんな大げさなものでもないが・・・)。

世の中は目紛るしい早さで変化をつづけておりますが、M-17 の卒業ペナントに刻み込まれた Drink & Discuss の精神は、今も変わることなく続いております。



M-17の大切なValue...
それは、よく飲みよく語り合う
Drink & Discussは今も変わらない

M19の近況

遠藤 拓郎

今年も暑いですね。お元気ですか？
海外の皆様は如何お過ごしでしょうか？

期全体の同窓会としては 10 年ぶりになってしまいましたが、2007 年 11 月 22 日、新橋ライオンピアホールで同窓会を開きました。韓国勢も含め 29 名のご参加をいただき、ご欠席の方々からも多くのご連絡をいただき、盛り上がる事が出来ました。ありがとうございました。

今年も秋(多分 11 月)に予定しますので振るってご参加ください。(今後は毎年の開催を検討しています。)

ちなみに、昨年の写真は今回掲載しているものの他にも 50 枚ほど預かっておりますので、今年と同窓会に持参しますね。希望者には後日送付します。
(盧さん、水谷さんありがとうございます。新 HP にアップする予定で待っていましたが共有できる設定がありませんでした。)

今年1月の三田での同窓会総会にも多数ご参加いただきありがとうございました。副会長田村さんの司会は如何だったでしょうか？(ちなみに田村さんは今年も副会長に再任されてらっしゃいます。)

その後、井口君の訃報という悲しい出来事もありましたが、鈴木君の渡米、網代さんのご就職、木村(将)さんの体調復活 & ご昇進といったうれしいご連絡もありました。

去る7月26日には、多数の退任・現役教員、同窓生の参加のもと、同窓会主催の「旧校舎お別れ会」があり、M19 からは菅井さん、野村さんにご出席くださいました。田村さんからは懇親の力作「お別れ会記念誌」のご説明がありました。本誌は来年1月(?)の総会でも配布されるようです。次回総会は、新校舎で行われますので、こちらも楽しみです。

では、また秋に。



「各期だより N21 」

アメリカ・インディアナ州在住 豊田敬子

卒業して8年も経つと、変わってしまうところは変わってしまい、忙しさにまぎれてつい連絡も疎遠に・・・なんてこともあるのですが、M21は「ミスター」こと藤田久男さんのメンテナンスのおかげで、MLなどもしっかり機能しています。今回、「どうせ暇だろうから」と同期の近況報告のまとめ役を仰せ付かった豊田敬子です。



私自身は、夫の転勤に伴い渡米、次女の出産とビザの関係で、MBAらしいことは何一つできない宙ぶらりんな生活をしていますが、MLを通していただいた、同期の活躍をご紹介します。

武蔵大学准教授の黒岩健一郎さん(<http://homepage2.nifty.com/kuroiwa/>)は、昨年4月から今年の1月まで、USLAのアンダーソンスクールにVisiting Scholarとして招聘され、心理学ベースの消費者行動の博士課程用の授業に参加されました。また、嶋口先生らと研究した成果を「マーケティング優良企業の条件」という本として出版されています。出張調査中の上海からのレス、ありがとうございました。

シカゴ在住の平章人さんは、今年6月、KelloggのExecutive MBAを無事卒業、日米2つのMBAを持つ男です。現在は、インクスUSA(従業員本人一人)にて、新規営業から日々の事務まで孤軍奮闘しているようです。その妻、婦二子さんは、二人の娘の子育ての傍ら、Northwestern大学、教育学部の大学院生活3年目になりました。SNA(ソーシャルネットワークアナリシス)を使い、企業におけるマネージャーの人的ネットワークとパフォーマンスの関係性について、修士論文を執筆中です。がんばれ！

(<http://www.sesp.northwestern.edu/msloc/ourcommunity/studentprofile/taira/>)

「コーチングは天職」と言い切れる渡邊有貴さん

(<http://www.thecoaches.co.jp/>)は、従来の活動に加え、最近では故郷への恩返しを意識して、山梨学院大学などで授業を開講中。また、秋にカナダで開かれる国際コーチ連盟のカンファレンスでパネリストをすることになり、目下、猛烈に英語の勉強中とか。それから週2-3回のスイミング。やっぱり人間、体力も大事ですよ。

「弊社インドオフィスと、つたない英語で、毎日コミュニケーションしながら仕事をしています。」というのは、ヘッドストロングジャパン(株)勤務の服部松利さん。でも、しっかりインド出張も楽しんでいらっしやるみたいです。

富士ゼロックス(株)から、富士写真フィルム HD に出向中の松井哲也さんは、M&A やグループ会社の経営管理に携わっています。「子会社の数が全然違いますので、苦勞していますが、どれだけ取り掛かっても終わりは無いそのスケールを楽しむことにしています。」といいながら、週末はお子さんのサッカーチームのコーチのボランティア。子供を育てるということは、実はすごい社会貢献なのではないかと思う昨今です。

最後は、ソニー・エリクソンモバイルでフィンランドに駐在中の陶琳さん。「北欧の人々の仕事に対する価値観・働き方、組織のあり方、また日々の生活の楽しみ方は日本、アジアと大きく異なるところがありまして、いい刺激をたくさん受けて楽しく頑張ってます。」とのこと。同期の渡部典子さんや、雷雲さんとも北の国で再会を果たし、M21 のつながりはまさに世界規模、といったところです。



M25の近況

藤野 晴由

私たち M25 期生は KBS を卒業し 4 年が過ぎました。KBS で学んだ 2 年間でだんだんと思い出に変わり、そこで学んだ事が忘れ始めていることに時々恐怖を覚えているのは私だけではないと思います。KBS 時代を常に思い出して、新しい知識欲を持ち続けることが重要だなと感じるだけの今日この頃です。

さて私の近況報告をいたしますと、KBS 卒業と同時に企業派遣先であった百貨店に戻りました。そこで古い体質の百貨店の現実と戦いながら、「この会社を変えるか、俺が代わるか」を自分のスローガンにしながら新規事業を立ち上げることにしました。一つはリラクゼーション施設、もう一つは WEB ショッピング 事業です。一つは見事に失敗し今年の春に閉店となりました。(悲)もう一つの WEB 事業は何とか軌道に乗だしホッとしているところです。この 2 つの事業を立ち上げてつくづく感じたのは、事業にはやはり熱意と信頼できる仲間がもっとも重要だということです。事業の立ち上げプロセスには KBS で学んだことなくしては実現できないと実感。さすが MBA 教育はすごいなと思いました。しかし実際に事業を動かすには MBA ではなかなか教えてもらえない部分が KFS でした。私の場合は KBS の同期(青陰君)が事業に参加してくれたことが一番の成功要因だと思っています。ビジネスモデルは完璧でもそれを動かすのは人間なのです。それをどう組織化してうまく回すかがこんなにも難しく大変であることをつくづく感じました。KBS の仲間こそが私にとっての一番大きな財産となったと確信させてくれました。皆さんもぜひ卒業までにすばらしい仲間を作ってください。

私はKBSで「お嫁さん」を手に入れました

KBS M27 小野 司・佳代子(旧姓 新井)

私こと小野司・44歳はこの度KBSでお嫁さんを手に入れました。家内は同じくM27の「新井ちゃん」こと佳代子です(本人の切なる希望により年齢は割愛)。

KBSでは色々なことを学ばせていただきましたが、卒業後思ってもみなかった大きなフロックを手にして日吉の方には足を向けて眠れませんねー。両親も勉強のことよりも我が子の結婚について「本当に慶應に行ってよかったねー」と大喜びで、お陰でほぼ生まれて初めての親孝行をすることができました。実は結婚が決まった数カ月後に私は父を亡くしました。こんな私に親孝行をさせてくれたKBSと家内には本当に感謝しております。

さて、結婚式。今年の4月20日芝パークホテル。当日はKBSの藤井先生、中村先生、小幡先生にご臨席を賜りました。藤井先生にはご祝辞を頂戴し、同じく中村先生の乾杯のご発声をお願いしました。何より嬉しいことはKBSM27同期生ほぼ全員のご出席がなかったということです。KBSの皆さまこんなにこんなに祝福を頂き本当に私は男冥利につきます。(但し、当日のM27大丸の今津さんのスピーチは失敗でした。しかしこれは本人のせいではなくキャスティングをした私の責任です。あしからず。)

今二人は、新婚生活ど真ん中です。私は建設会社でPFIの業務に勤しみ、家内は外資系の自動車部品の会社でファイナンスアナリストとしてのキャリアを積んでおります。今感じていることは「結婚って思ったより結構いいものだなー。」何となく二人でいれば世の中を渡っていけるのではないかと漠然と思っています。



KBSテニス合宿

M28 寺山昇志

2008年8月30日(土)・31日(日)に開催されました KBS テニス合宿に参加してきました。私がこの合宿に参加するのは、現役生の頃から数えると、3回目ですが、2006年の春から、春一回、夏一回のペースで開催されていると記憶していますので、今回で6回目(?)になるはずです。

今回は、M28からは下垣内さん、江尻さん、亀井さん、東海林さんと私の5名が参加し、M29、M30、M31のみなさんも合わせると、期を越えて、約20名のテニス好きが集まりました。



会場は、山中湖のホテルで、30日のお昼にロビーに集合したのですが、あいにく全国的な豪雨で、山中湖付近も例外に漏れず、大雨。「この天候では二日間ともテニスができないのでは・・・」と思っていたのですが、2時間後、見事に雨は止み、なんとかテニスを始められました。

幸いにもそれから天気は崩れることなく、M28からM31までが入り混じって、チーム対抗戦を行い、ダブルスで経験者も初心者もなく、楽しみながらも、一方で、勝ちにこだわり、一生懸命、プレーしたことで、大いに盛り上がりました。

懇親会では、全員がひとつの部屋に集まり、自己紹介をしたり、現役生のみなさんからKBSの様子を聞いたり、また、自分たちが今、どのような仕事をしているのかなどを話したりと、交流を深めることができました。

こうして、年に1度、2度ですが、同期や他の期の方と集まることのできる、貴重な機会であるテニス合宿を今後も継続していき、個人としても積極的に参加して、盛り上げていければと思います。

【私の近況】

大久保 史朗

私は本年(2008年)3月にKBSを卒業後、派遣元のコスモ石油に復職し、海外での新規事業を推進する海外事業部に配属された。事業部の使命は、当社の現在の基幹事業である石油事業以外に、会社の将来を託せる新規事業を探求育成し、事業採算化することである。集光太陽熱発電事業やバイオ事業など数プロジェクトが進行中であるが、私はアミノ酸を応用した商品用途開発と、事業化を担うアグロビジネスグループのメンバーとなった。



そのアミノ酸は「5 アミノレブリン酸」、通称「ALA」と言

う。生命の起源と注目される昔からある物質だが、大変高価で1gが5万円もした。しかし、当社は100分の1以下のコストで生産できる量産技術の確立に成功。ALAは植物体内ではクロロフィル(葉緑素)、動物の体内ではヘム(血液)の前駆体となるもので、まさに生物が生物たるゆえんのアミノ酸だ。言葉を換えれば、ALAがあれば、植物では葉緑体が効率よく製造されて光合成が活発になり、動物では血液ができて元気になる。応用分野は無限。生命の根源的なアミノ酸であるから当然ではあるが、ガンの診断や治療などの医薬分野、ニキビ治療や育毛等の美容分野、農薬や飼料分野など有望なマーケットが控えている。

その中でも現在、商品化に成功しているのは、ALAに加え各種ミネラルや他の肥料成分も加えた機能性肥料「ペンタキープシリーズ」である。私はこの「ペンタキープ」という製品の未開拓エリアである米国の担当となった。MBA学位を取得したばかりということもあり、2年間の学習の成果を発揮しビジネスを立ち上げろとの社命である。戸惑いながら手探りで先ずマーケティングから開始してみたものの、残念ながら一人ではどうあがいても無理であった。そこで、私が採った方法は、現地で農業コンサルや弁護士といった専門家たちとチームを編成して対応することだった。元々海外の新規事業であるので、社内にリソースは無いに等しいのだが、社外の専門家ば

かりを集めてチームを結成するなんて発想は、間違いなく**KBSで身に着いた習性**である。



販売代理店の選定、倉庫の賃貸借から物流網の整

備、そして役所への肥料登録の申請等全てにおいて国ではなく州毎に案件を進めなければならないばかりか、商品の品質と安全性についても非常に厳しく審査される。しかも、ブランド力や知名度がない。おまけに販売しているのがコスモ石油という農業とは関係ない会社なので(笑)、「何故石油会社が肥料なんだ？」と訝しがられ、会社の看板も全く通用しない。そんな時ありがたいと感じるのは、過去に日本メーカーが構築してきた深い信頼である。特に農業従事者の多くは、ホンダの小型耕耘機を使いトヨタのピックアップトラックに乗っている。「日本企業なら嘘はつかんだらう」と門前払いを免れ、話だけは聞いてくれるのである。異国の地で徒手空拳でビジネスを構築し、お客様の信頼を得ていくのは非常に難しい状況だが、逆に困難を打ち破っていくおもしろさも感じている。

そして、現在のビジネスの構築には、KBSで学んだことをできるだけ活かしたいとの思いで挑んでいる。マーケティングのイロハのイである4Pを強く意識して販売体制の構築を行っており、意思決定や分析にはフレームワークを活用している。財務の教科書を引っ張り出してきて投資判断や企業価値評価の検討材料の作成をし、工場での製造工程構築の際には生産管理のケースを読み返したりした。KBSの同窓生のどなたかもコメントされていたが、振り返って学べるKBSの授業や教材は貴重だと思う。しかし、何と言っても僕の最大の財産は皆さん同級生。**卒業後も刺激や気づきを頂くだけで無く、実際のビジネスの相談にも乗って頂いている。皆さんのような得難い友人に恵まれて僕は本当に幸せである。**

さて、今月来月は浅野氏木村(知)氏、西澤氏そして小泉氏の挙式に続き、桐山氏にもお子さんが誕生するなど同期の慶事が続く。同窓会報も同期の木村(隆)氏の尽力もあり、本報からWEB化され、随時更新が可能になった。この同窓会報「M29 各期便り」がこうした慶事は勿論のこと、起業や転職情報など同期の皆さんの近況報告の場となればと願っている。